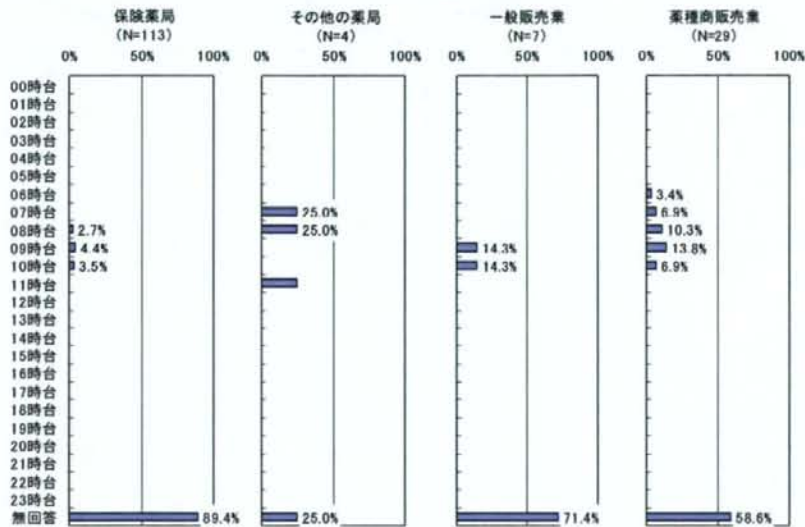


### ③ 日曜日

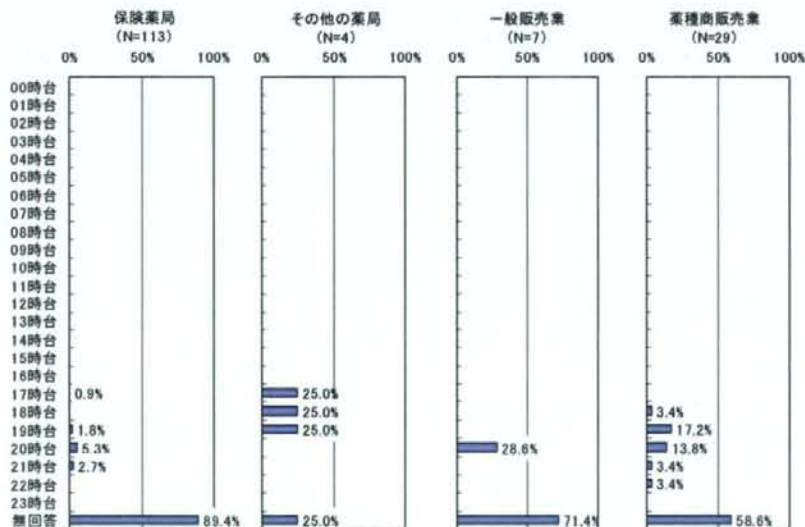
日曜日の営業時間帯について、施設種類ごとの平均開業時間及び平均終業時間は下記の通りであった。

- 保険薬局 : 平均開業時間 9.1 時 平均終業時間 19.9 時
- その他の薬局 : 平均開業時間 9.5 時 平均終業時間 17.5 時
- 一般販売業 : 平均開業時間 9.5 時 平均終業時間 20.3 時
- 薬種商販売業 : 平均開業時間 8.3 時 平均終業時間 19.9 時

図表 4-24 開業時間



図表 4-25 終業時間



## 10 従業員数

施設種類ごとの1施設当たり平均従業員数の状況は図表4-26～4-29の通りであった。従業員1人当たり売場面積をみると、保険薬局は25.1㎡と最も小さく、一般販売業では45.2㎡であった。

図表 4-26 1施設当たり従業員数（常勤換算）の状況（保険薬局）

N=101	薬 剤 師	そ の 他 職 員	合 計
常 勤 職 員	2.0 人	2.0 人	3.9 人
非 常 勤 職 員	0.7 人	0.3 人	1.0 人
合 計	2.6 人	2.2 人	4.9 人
従業員1人当たり売場面積			25.1 ㎡

図表 4-27 1施設当たり従業員数（常勤換算）の状況（その他の薬局）

N=2	薬 剤 師	そ の 他 職 員	合 計
常 勤 職 員	1.0 人	0.0 人	1.0 人
非 常 勤 職 員	0.0 人	0.0 人	0.0 人
合 計	1.0 人	0.0 人	1.0 人
従業員1人当たり売場面積			28.5 ㎡

図表 4-28 1施設当たり従業員数（常勤換算）の状況（一般販売業）

N=5	薬 剤 師	そ の 他 職 員	合 計
常 勤 職 員	1.0 人	6.6 人	7.6 人
非 常 勤 職 員	0.4 人	0.0 人	0.4 人
合 計	1.4 人	6.6 人	8.0 人
従業員1人当たり売場面積			45.2 ㎡

図表 4-29 1施設当たり従業員数（常勤換算）の状況（薬種商販売業）

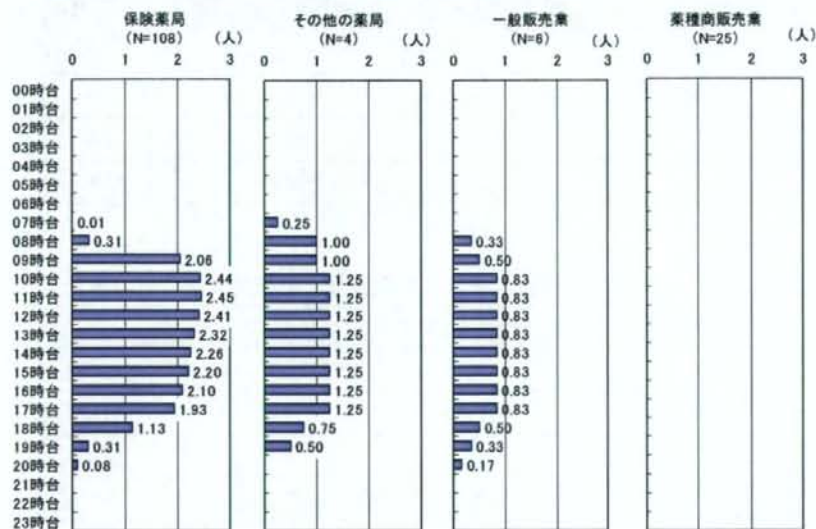
N=8	薬 剤 師	そ の 他 職 員	合 計
常 勤 職 員	0.1 人	1.3 人	1.4 人
非 常 勤 職 員	0.0 人	0.1 人	0.1 人
合 計	0.1 人	1.3 人	1.4 人
従業員1人当たり売場面積			40.3 ㎡

## 11 平日の従業員のシフト

平日の営業時間帯は、保険薬局では薬剤師が2人程度、その他の薬局と一般販売業では1人程度、薬種商販売業では薬種商が1人程度従事していた。

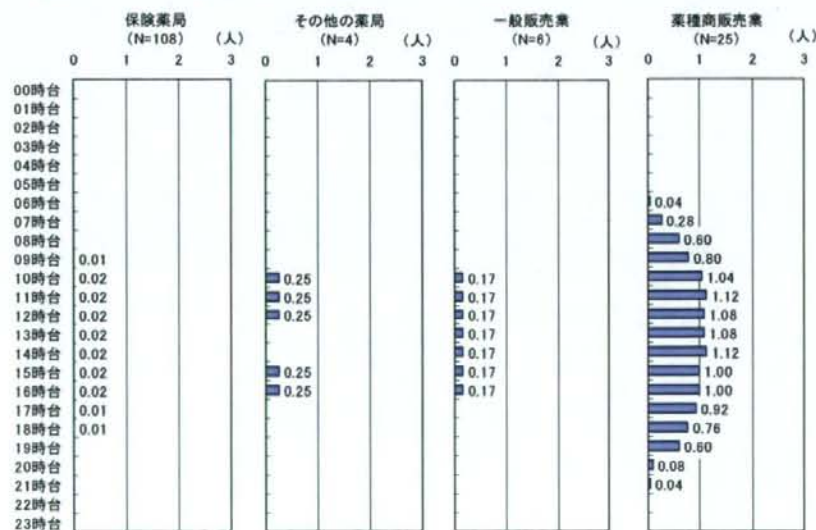
### ① 薬剤師

図表 4-30 1施設当たり薬剤師数（実人数）の状況；平日の時間帯別



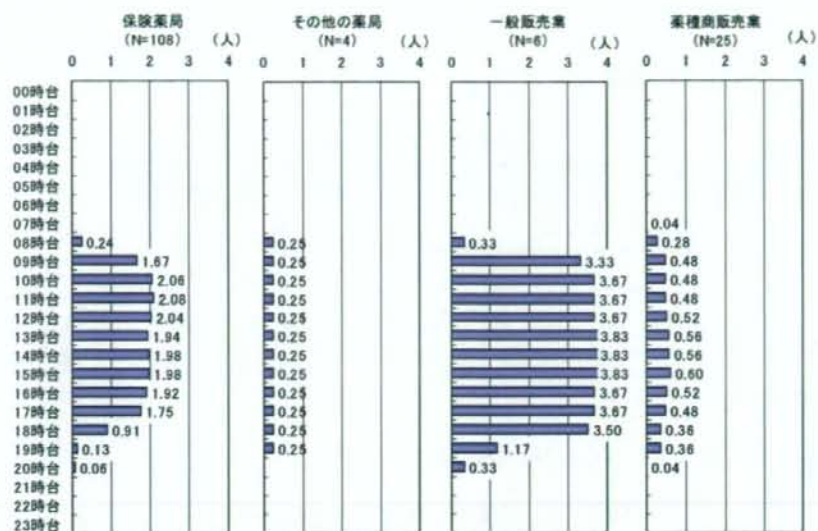
### ② 薬種商

図表 4-31 1施設当たり薬種商数（実人数）の状況；平日の時間帯別



③ その他の職員

図表 4-32 1施設当たり薬種商数（実人数）の状況；平日の時間帯別



## Ⅶ 宮崎県における調査結果の概要

### 1 回収状況

回収状況は図表 5-1 の通りであった。

図表 5-1 回収状況

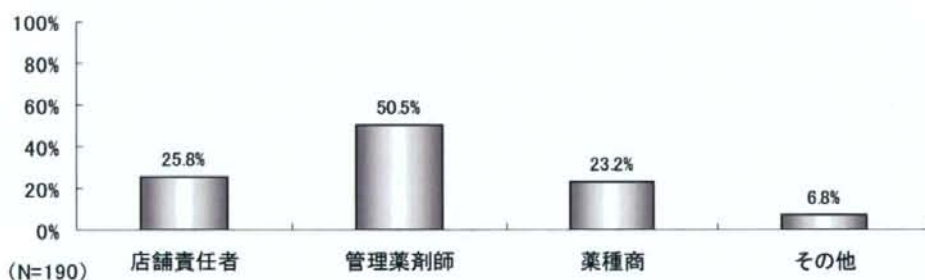
	発送数	回収数	回収率
宮 崎 県	880 件	190 件	21.6%

### 2 調査結果

#### 1 調査票の回答者

調査票の回答者の 50.5%は管理薬剤師であった。

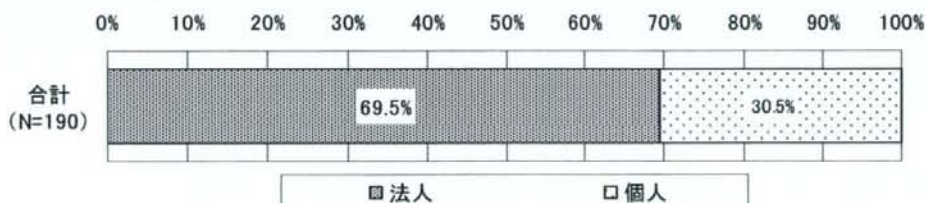
図表 5-2 調査票の回答者【複数回答】



#### 2 開設主体

回答施設の 69.5%は法人であった。

図表 5-3 開設主体

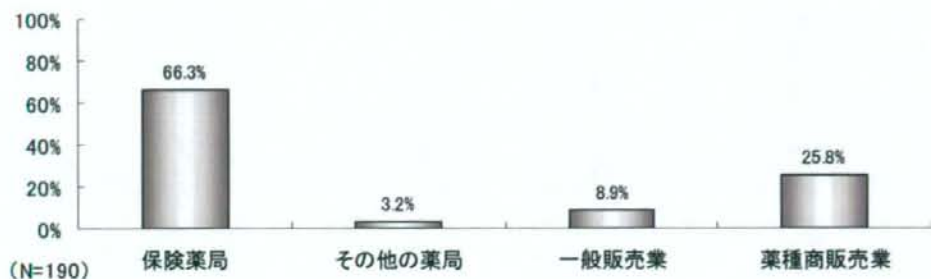


### 3 薬局・販売業の種類

回答施設の66.3%が保険薬局であった。

なお、次項より「保険薬局」「その他の薬局」「一般販売業」「薬種販売業」の区分は、複数回答している6施設を除いて集計した結果である。

図表 5-4 薬局・販売業の種類【複数回答】

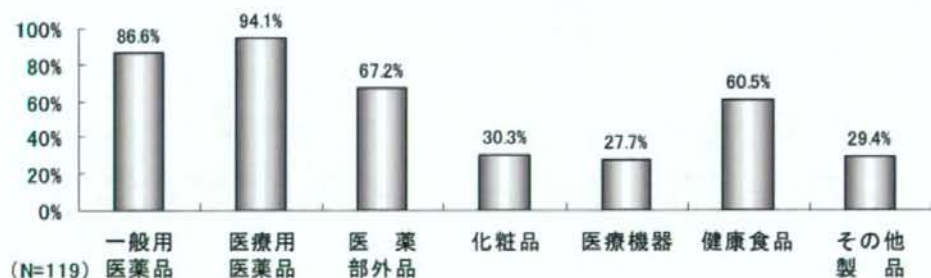


### 4 販売品目

#### ① 保険薬局

保険薬局の販売品目は、医療用医薬品 94.1%が最も多く、次いで一般用医薬品 86.6%、医薬部外品 67.2%であった。

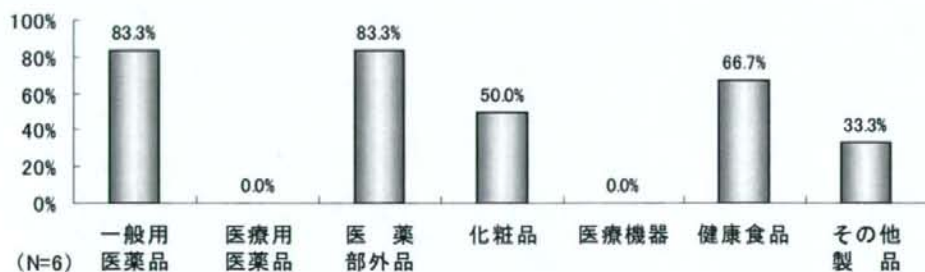
図表 5-5 販売品目（保険薬局）



## ② その他の薬局

その他の薬局の販売品目は、一般用医薬品と医薬部外品が 83.3%が最も多く、次いで健康食品が 66.7%であった。

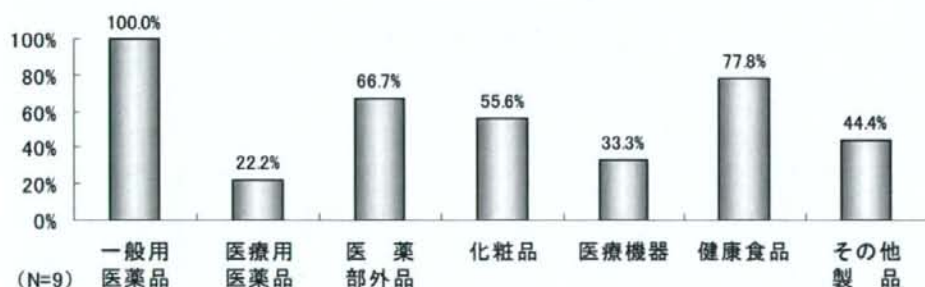
図表 5-6 販売品目（その他の薬局）



## ③ 一般販売業

一般販売業の販売品目は、一般用医薬品 100.0%が最も多く、次いで健康食品 77.8%、医薬部外品 66.7%であった。

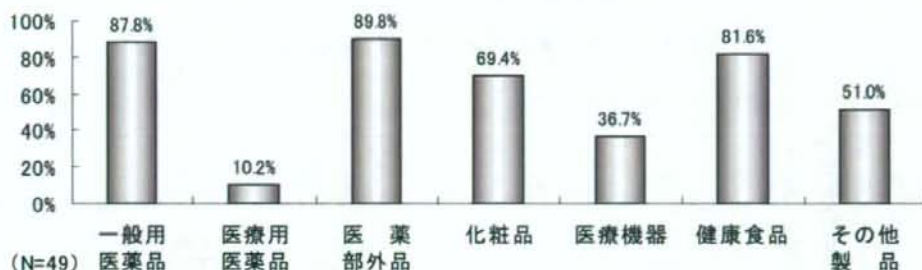
図表 5-7 販売品目（一般販売業）



#### ④ 薬種商販売業

薬種商販売業の販売品目は、医薬部外品 89.8%が最も多く、次いで一般用医薬品 87.8%、健康食品 81.6%であった。

図表 5-8 販売品目（薬種商販売業）



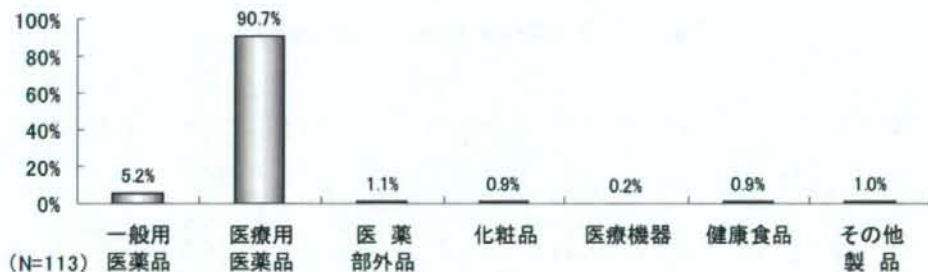
#### 5 売上高（構成割合）・処方せん枚数

##### ① 保険薬局

保険薬局の平成 19 年度の 1 施設当たり平均売上高は 117,486,522 円 (N=89) であり、売上高の 90.7%が医療用医薬品によるものであった (N=113)。

なお、平成 20 年 6 月 1 カ月の 1 施設当たり平均受付処方せん枚数は 1,313.9 枚 (N=120) であった。

図表 5-9 売上高の構成割合（保険薬局）



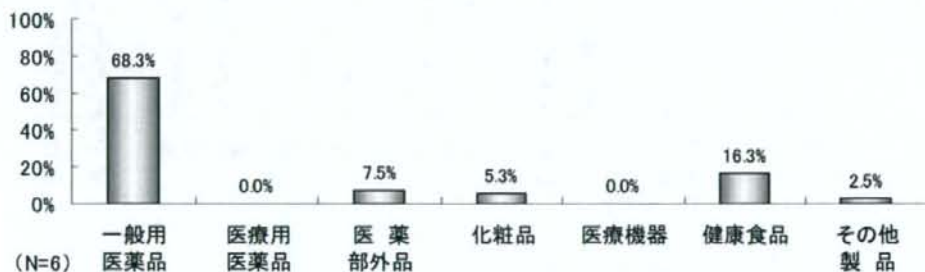


## ② その他の薬局

その他の薬局の平成 19 年度の 1 施設当たり平均売上高は 32,500,000 円 (N=4) であり、売上高の 68.3%が一般用医薬品によるものであった (N=6)。

なお、平成 20 年 6 月 1 カ月の 1 施設当たり平均受付処方せん枚数は 0.0 枚 (N=3) であった。

図表 5-10 売上高の構成割合 (その他の薬局)

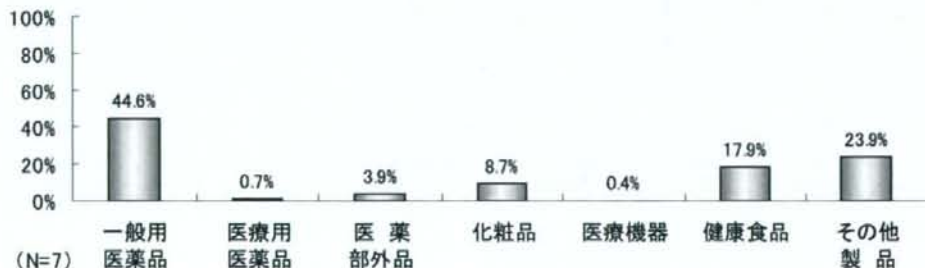


## ③ 一般販売業

一般販売業の平成 19 年度の 1 施設当たり平均売上高は 177,666,667 円 (N=3) であり、売上高の 44.6%が一般用医薬品によるものであった (N=7)。

なお、平成 20 年 6 月 1 カ月の 1 施設当たり平均受付処方せん枚数は 0.0 枚 (N=7) であった。

図表 5-11 売上高の構成割合 (一般販売業)



#### ④ 薬種商販売業

薬種商販売業の平成19年度の1施設当たり平均売上高は39,791,875円(N=32)であり、売上高の50.4%が一般用医薬品によるものであった(N=41)。

なお、平成19年6月1カ月の1施設当たり平均受付処方せん枚数は0.0枚(N=19)であった。

図表 5-12 売上高の構成割合（薬種商販売業）



#### 6 売場面積

1施設当たり売場面積としては、一般販売業の762.8㎡が最も大きく、保険薬局の83.5㎡が最も小さくなっていた。

なお、保険薬局では、総面積のうち調剤関連部分が44.6%を占めていた。

図表 5-13 売場面積の状況

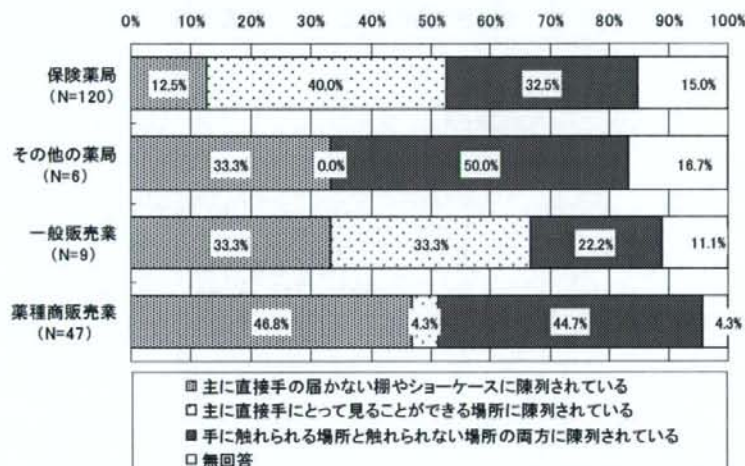
	1施設当たり	
	総売場面積	調剤関連部分
保険薬局 (N=100)	83.5㎡	37.3㎡
その他の薬局 (N=2)	247.5㎡	38.0㎡
一般販売業 (N=5)	762.8㎡	69.3㎡
薬種商販売業 (N=12)	168.7㎡	1.3㎡

## 7 販売・陳列方法

### ① 一般用医薬品

一般用医薬品の販売・陳列方法をみると、「主に直接手にとって見ることができる場所に陳列されている」との回答が、保険薬局と一般販売業でそれぞれ40.0%、33.3%となっていた。

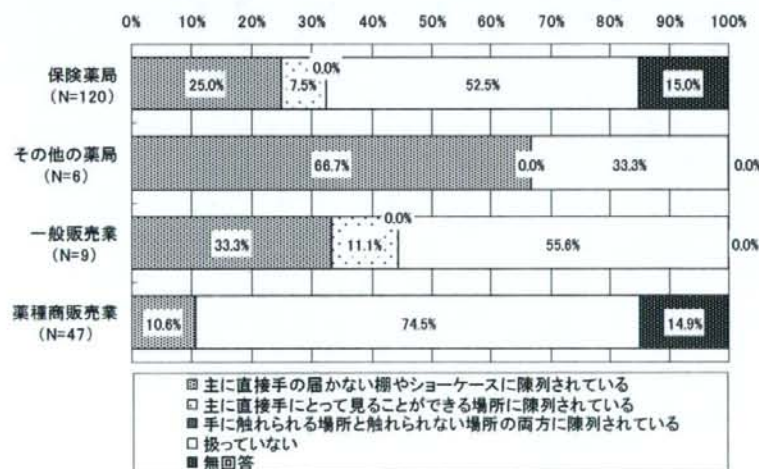
図表 5-14 一般用医薬品の販売・陳列方法



### ② H<sub>2</sub>ブロッカー

一般用医薬品のうちH<sub>2</sub>ブロッカーの販売・陳列方法をみると、保険薬局の52.5%、一般販売業の55.6%、薬種商販売業の74.5%が扱っていないが、その他の薬局では「主に直接手の届かない棚やショーケースに陳列されている」との回答がそれぞれ66.7%であった。

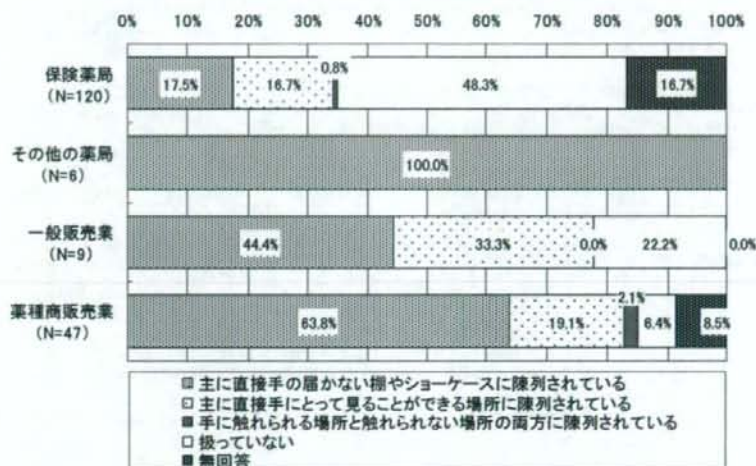
図表 5-15 H<sub>2</sub>ブロッカーの販売・陳列方法



### ③ 漢方エキス製剤

漢方エキス製剤の販売・陳列方法をみると、保険薬局の48.3%が扱っていないが、その他の薬局と薬種商販売業では「主に直接手の届かない棚やショーケースに陳列されている」との回答がそれぞれ100.0%、63.8%であった。ただし、一般販売業では「主に直接手にとって見ることができる場所に陳列されている」との回答が33.3%であった。

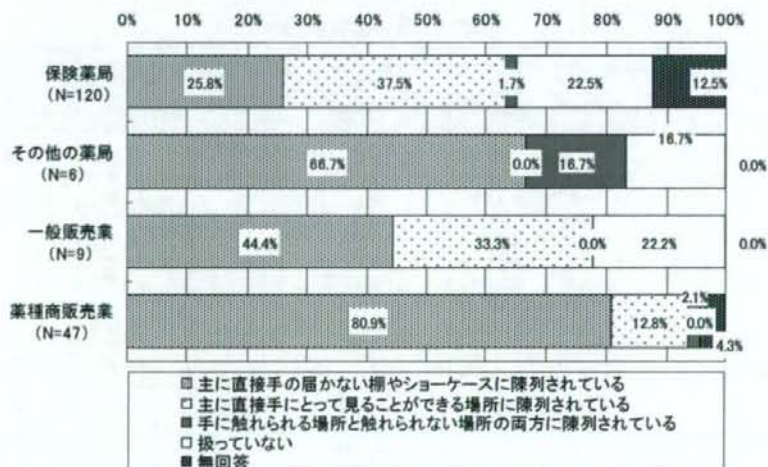
図表 5-16 漢方エキス製剤の販売・陳列方法



### ④ 風邪薬

風邪薬の販売・陳列方法をみると、その他の薬局と薬種商販売業では「主に直接手の届かない棚やショーケースに陳列されている」との回答がそれぞれ66.7%、80.9%であった。一方、保険薬局と一般販売業では「主に直接手にとって見ることができる場所に陳列されている」との回答がそれぞれ37.5%、33.3%であった。

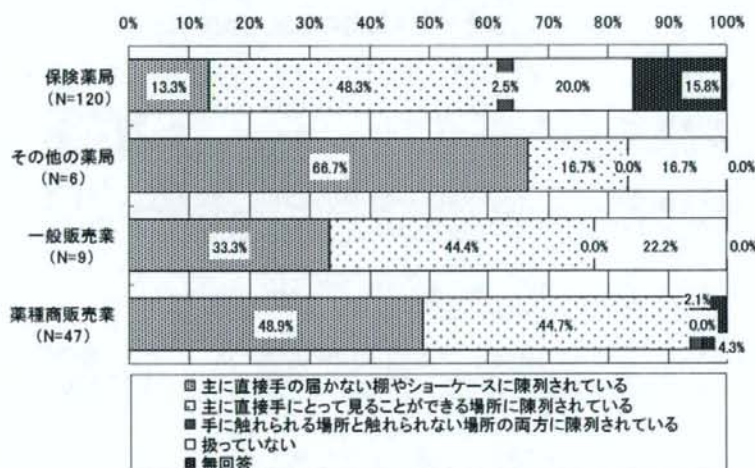
図表 5-17 風邪薬の販売・陳列方法



## ⑤ ビタミン剤

ビタミン剤の販売・陳列方法をみると、その他の薬局では「主に直接手の届かない棚やショーケースに陳列されている」との回答がそれぞれ 66.7%であった。ただし、保険薬局、一般販売業、薬種商販売業では「主に直接手にとって見ることができる場所に陳列されている」との回答がそれぞれ 48.3%、44.4%、44.7%であった。

図表 5-18 ビタミン剤の販売・陳列方法



## 8 営業日・定休日

営業状況をみると、「年中無休」の営業を行っているのは、その他の薬局 50.0%、一般販売業 33.3%、薬種商販売業 55.3%であった。一方で、保険薬局では「年中無休」は 3.3%にすぎなかった。

なお、保険薬局の 95.0%が週 5 日以上の営業であった。

図表 5-19 営業状況

		保険薬局 (N=120)		その他の薬局 (N=6)		一般販売業 (N=9)		薬種商販売業 (N=47)	
年中無休		4	3.3%	3	50.0%	3	33.3%	26	55.3%
週	5.0日 営業	19	15.8%	0	0.0%	2	22.2%	1	2.1%
	5.5日 営業	48	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	6.0日 営業	43	35.8%	2	33.3%	3	33.3%	7	14.9%
	6.5日 営業	4	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%
休日は不定期		2	1.7%	1	16.7%	1	11.1%	12	25.5%

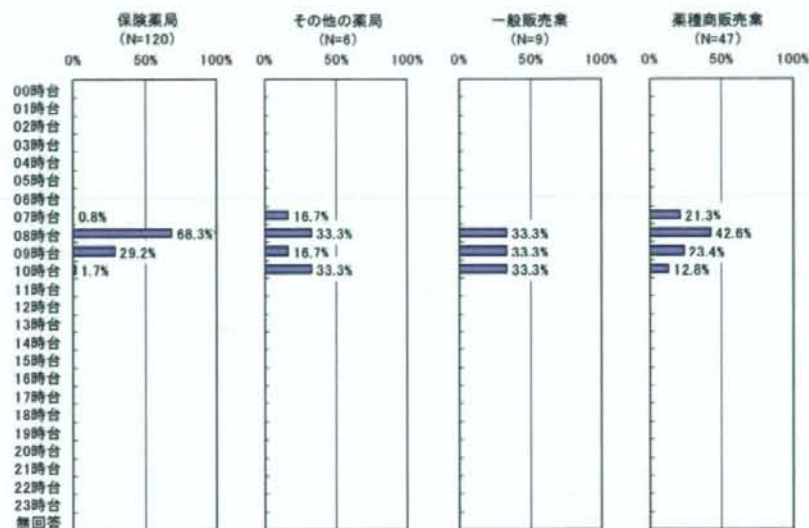
## 9 営業時間帯

### ① 平日

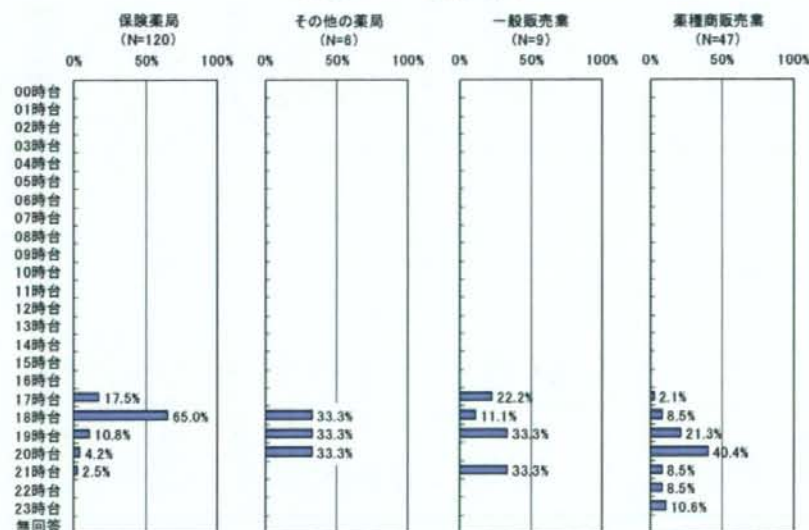
平日の営業時間帯について、施設種類ごとの平均開業時間及び平均終業時間は下記の通りであった。

- 保険薬局 : 平均開業時間 8.6 時      平均終業時間 18.2 時
- その他の薬局 : 平均開業時間 8.8 時      平均終業時間 19.0 時
- 一般販売業 : 平均開業時間 9.1 時      平均終業時間 19.2 時
- 薬種商販売業 : 平均開業時間 8.4 時      平均終業時間 20.2 時

図表 5-20 開業時間



図表 5-21 終業時間

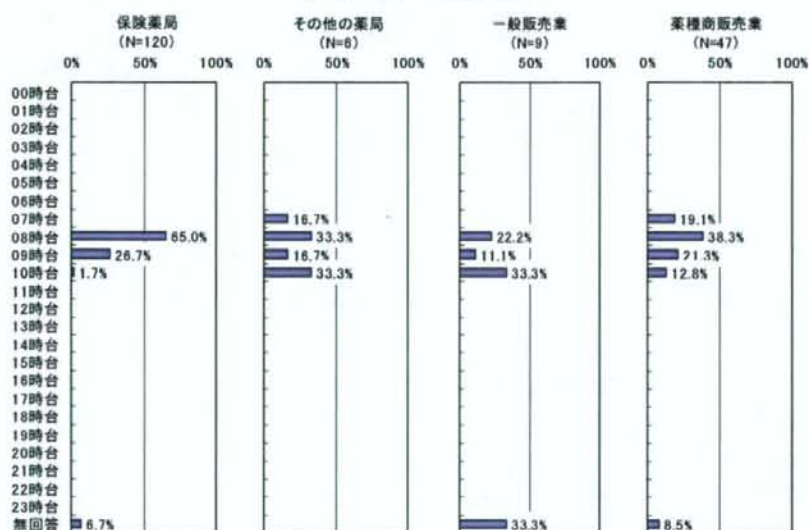


## ② 土曜日

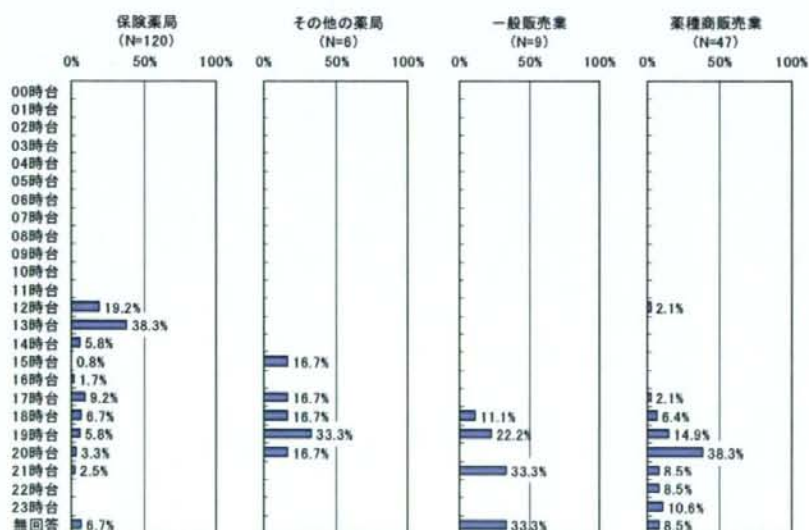
土曜日の営業時間帯について、施設種類ごとの平均開業時間及び平均終業時間は下記の通りであった。

- 保険薬局 : 平均開業時間 8.6 時      平均終業時間 14.6 時
- その他の薬局 : 平均開業時間 8.8 時      平均終業時間 18.0 時
- 一般販売業 : 平均開業時間 9.3 時      平均終業時間 19.8 時
- 薬種商販売業 : 平均開業時間 8.4 時      平均終業時間 20.1 時

### 図表 5-22 開業時間



### 図表 5-23 終業時間

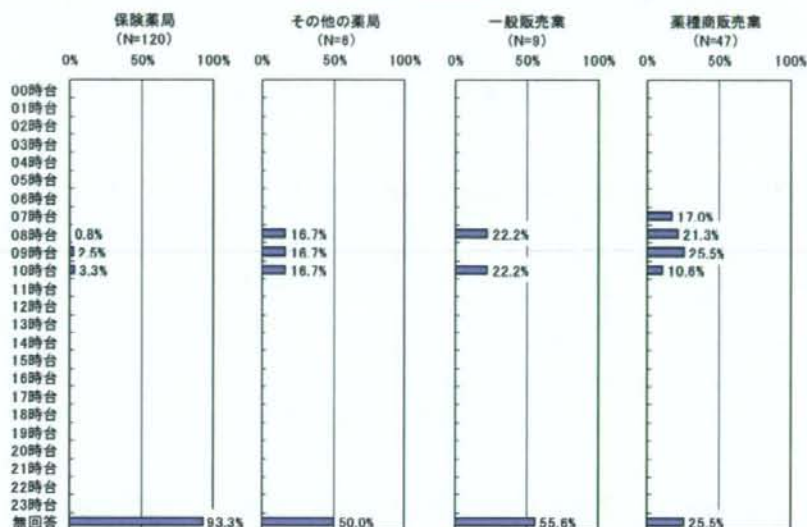


### ③ 日曜日

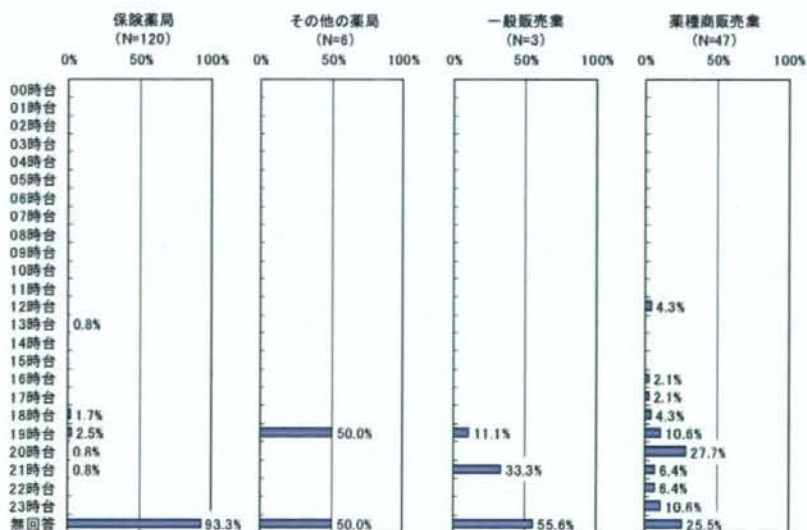
日曜日の営業時間帯について、施設種類ごとの平均開業時間及び平均終業時間は下記の通りであった。

- 保険薬局 : 平均開業時間 9.4 時      平均終業時間 18.4 時
- その他の薬局 : 平均開業時間 9.0 時      平均終業時間 19.0 時
- 一般販売業 : 平均開業時間 9.1 時      平均終業時間 20.5 時
- 薬種商販売業 : 平均開業時間 8.5 時      平均終業時間 19.8 時

図表 5-24 開業時間



図表 5-25 終業時間





## 10 従業員数

施設種類ごとの1施設当たり平均従業員数の状況は図表5-26～5-29の通りであった。従業員1人当たり売場面積をみると、保険薬局は17.6㎡と最も小さく、一般販売業では127.1㎡であった。

図表 5-26 1施設当たり従業員数（常勤換算）の状況（保険薬局）

N=109	薬 剤 師	そ の 他 職 員	合 計
常 勤 職 員	1.8 人	2.2 人	4.1 人
非 常 勤 職 員	0.3 人	0.4 人	0.7 人
合 計	2.1 人	2.6 人	4.7 人
従業員1人当たり売場面積			17.6 ㎡

図表 5-27 1施設当たり従業員数（常勤換算）の状況（その他の薬局）

N=2	薬 剤 師	そ の 他 職 員	合 計
常 勤 職 員	1.0 人	1.0 人	2.0 人
非 常 勤 職 員	0.0 人	0.0 人	0.0 人
合 計	1.0 人	1.0 人	2.0 人
従業員1人当たり売場面積			123.1 ㎡

図表 5-28 1施設当たり従業員数（常勤換算）の状況（一般販売業）

N=5	薬 剤 師	そ の 他 職 員	合 計
常 勤 職 員	1.2 人	2.4 人	3.6 人
非 常 勤 職 員	0.2 人	2.2 人	2.4 人
合 計	1.4 人	4.6 人	6.0 人
従業員1人当たり売場面積			127.1 ㎡

図表 5-29 1施設当たり従業員数（常勤換算）の状況（薬種商販売業）

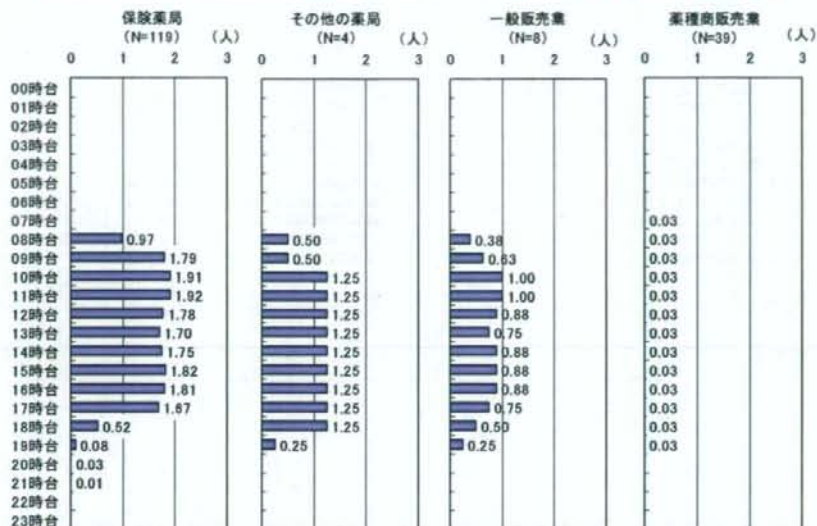
N=10	薬 剤 師	そ の 他 職 員	合 計
常 勤 職 員	0.1 人	2.6 人	2.7 人
非 常 勤 職 員	0.0 人	0.2 人	0.2 人
合 計	0.1 人	2.8 人	2.9 人
従業員1人当たり売場面積			58.2 ㎡

## 11 平日の従業員のシフト

平日の営業時間帯は、保険薬局では薬剤師が2人程度、その他の薬局と一般販売業では1人程度、薬種商販売業では薬種商が1人程度従事していた。

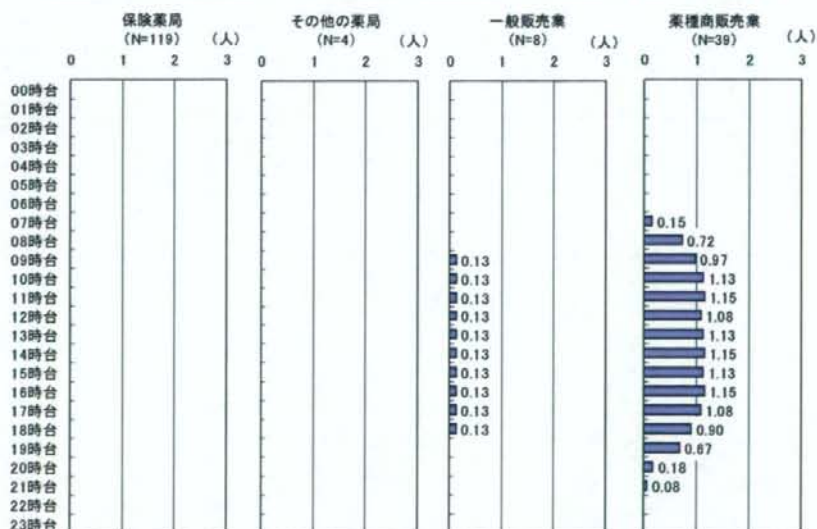
### ① 薬剤師

図表 5-30 1施設当たり薬剤師数（実人数）の状況；平日の時間帯別



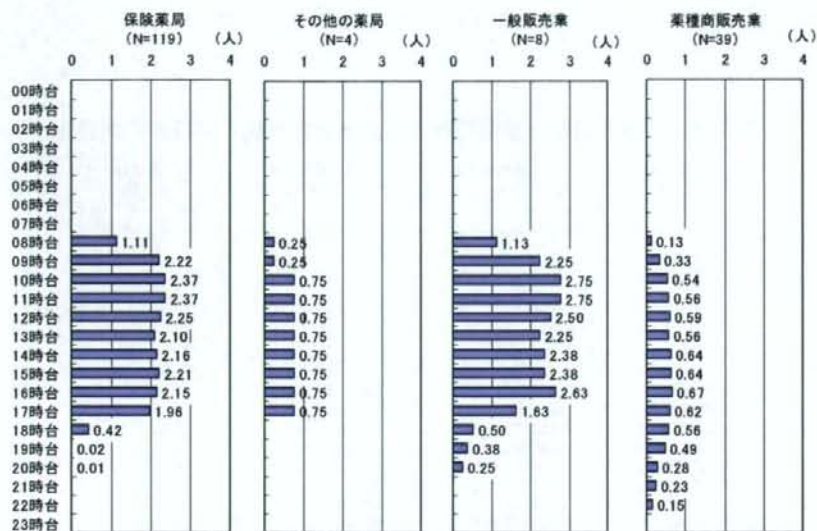
### ② 薬種商

図表 5-31 1施設当たり薬種商数（実人数）の状況；平日の時間帯別



③ その他の職員

図表 5-32 1施設当たり薬種商数（実人数）の状況；平日の時間帯別



## Ⅷ まとめ

### 1 結果のまとめ

#### 1 従業員の人員配置の状況

従業員の人員配置状況については、1施設当たり従業員数をみると、保険薬局では平均5.4人（薬剤師3.0人、その他職員2.4人）、その他の薬局で平均3.0人（薬剤師1.4人、その他職員1.6人）、一般販売業で平均7.1人（薬剤師1.9人、その他職員5.2人）、薬種商販売業で平均2.7人（薬剤師0.1人、その他職員2.6人）となっていた。

従業員の非常勤職員の割合をみると、保険薬局31.5%（薬剤師30.0%）、その他の薬局30.0%（薬剤師14.3%）、一般販売業35.2%（薬剤師31.6%）、薬種商販売業33.3%（薬剤師0.0%）となっていた。

さらに、従業員1人当たり売場面積については、保険薬局17.3㎡、その他の薬局46.0㎡、一般販売業46.8㎡、薬種商販売業41.2㎡となっており、保険薬局以外の薬局・薬店では従業員1人で40㎡以上をカバーする必要があった。

また、平日の薬剤師のシフトをみると、保険薬局では開業時間帯（8.9時～18.7時）において薬剤師が0.47～2.38人が配置されているのに対して、その他の薬局（開業時間9.0時～19.0時）では0.43～1.16人、一般販売業（開業時間9.5時～19.9時）では0.72～1.13人、薬種商販売業（開業時間8.8時～19.6時）では0.01～0.04人であった。ただし、薬種商販売業については、薬種商が0.44～1.06人が配置されていた。

#### 2 医薬品の陳列方法の状況

医薬品（一般用医薬品・H<sub>2</sub>ブロッカー・風邪薬・ビタミン剤）の陳列状況についてみると、一般用医薬品については「手に触れられる場所と触れられない場所の両方に陳列されている」との回答が、保険薬局31.4%、その他の薬局60.9%、一般販売業54.4%、薬種商販売業60.3%であった。

H<sub>2</sub>ブロッカーについては、「主に直接手の届かない棚やショーケースに陳列されている」との回答が、保険薬局32.0%、その他の薬局68.8%、一般販売業63.7%であった。

漢方エキス剤については、「主に直接手の届かない棚やショーケースに陳列されている」との回答が、その他の薬局64.1%、薬種商販売業62.3%であるのに対して、一般販売業では「主に直接手にとって見ることができる場所に陳列されている」との回答が46.5%となっていた。

風邪薬についても漢方エキス剤と同様の傾向がみられ、「主に直接手の届かない棚やショーケースに陳列されている」との回答が、その他の薬局65.6%、薬種商販売業72.7%と7～8割程度に及んでいる一方で、一般販売業では「主に直接手にとって見ることができる場所に陳列されている」との回答が55.0%となっていた。

ビタミン剤についても、「主に直接手の届かない棚やショーケースに陳列されている」との回答が、その他の薬局42.2%、薬種商販売業50.2%であるのに対して、保険